

令和5年度当初予算知事審査における主要な議論

(警察本部)

■ 初動警察活動強化のための車載カメラ整備及び運用 (P2・3)

- 知 事 今回導入を検討している機器について、汎用品を導入しない理由は。
- 担当部局 車載カメラで鮮明な映像を撮影するためには、カスタマイズを行い、逆光補正をする必要がある。県警が想定しているこうした性能を満たすものは汎用品では足りず、特別仕様のものである必要がある。

令和 5年度予算見積調書

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2234

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p2	初動警察活動強化のための車載カメラ整備			一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	一般活動費	
事業期間	令和5年度～ 令和11年度	根拠法令	警察法			針路 分野施策	02 0201	県民の暮らしの安心確保 防犯対策の推進と捜査活動の強化	SDGsゴール 16 SDGsターゲット 16-6
1 事業概要	<p>県民からの事件・事故等の110番通報に対し、いち早く現場状況の把握と情報共有を行い、現場状況に応じた迅速・的確な初動警察活動を実施し、被害の拡大防止及び犯人の早期検挙により県民の安心・安全を確保する。</p> <p>初動警察活動強化のための車載カメラ整備 12,575千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 無線自動車動態管理(カーロケータ)システムに可搬式タブレット型車載装置と車載カメラを整備する。</p> <p>車載カメラ装置機器等に係る回線使用料 12,575千円</p> <p>(2) 事業計画 初動警察活動強化のための車載カメラ整備 (翌年度以降、役務費/年)</p> <p>(3) 事業効果 110番通報に対する迅速・的確な初動警察活動が強化され、被害の拡大防止及び犯人の早期確保・犯罪の発生抑止が可能となり、県民の安全・安心を確保することができる。</p>					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	なし								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	12,575							12,575	12,575
前年額	0							0	